

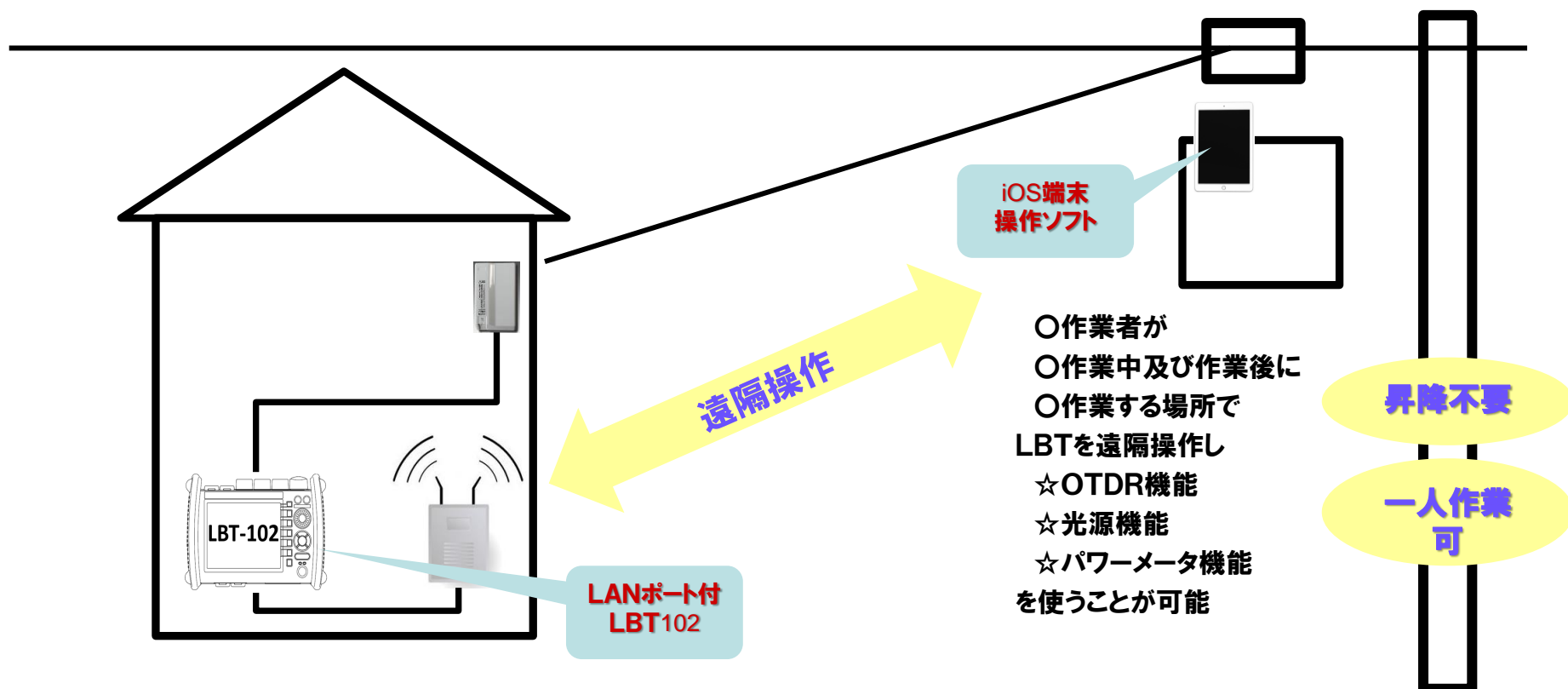
成技資18142B

# 故障修理支援ツールLBT-102 遠隔操作のご紹介

株式会社 成和技研

光線路の故障修理の際に、故障修理支援ツール(LBT)をリモート制御することで、安全かつ効率的に故障点探索を行うことができると考えております。

LBTをリモート制御する方法について検討した内容をご紹介します。



## モバイルルーター



**インターネット  
(携帯回線)**



Wi-Fi



USBケーブル(給電用)

電源供給用USB端子

LAN端子

**LBT-102  
デモ機**

**Wi-Fi変換器**

LANケーブル(通信用)

固定グローバルIPアドレス付SIM  
+  
モバイルルーター

iPhone【専用アプリ(iOS対応)のインストール必要】



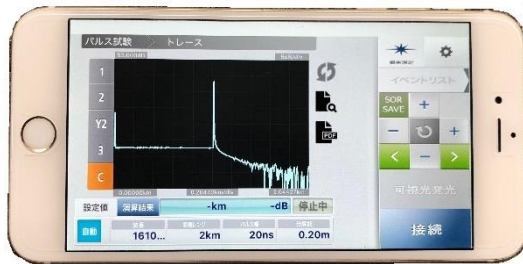
### メリット

各機器の内臓バッテリーで動作  
Wi-Fi、携帯回線どちらも操作可能  
但し切り替えの際は  
「設定」でIPアドレス変更が必要

### デメリット

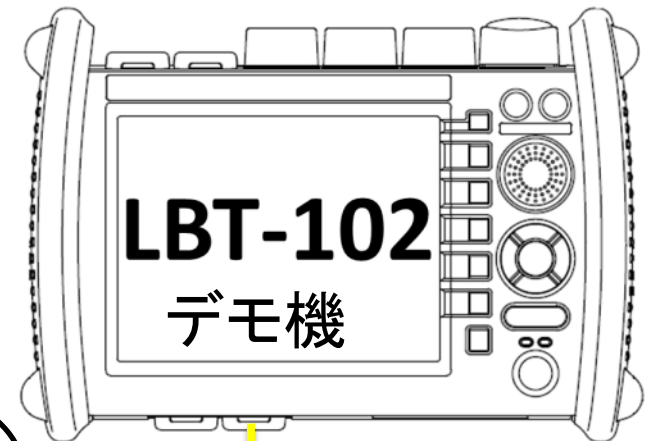
LBT本体にLAN - Wi-Fi変換が必要

遠隔操作デモ用  
ソフトウェア  
@iOS



iPhone【専用アプリ(iOS対応)のインストール必要】

インターネット  
(携帯回線)



LANケーブル



Wi-Fi STATION N-01J  
+ 固定IP付SIM  
&  
クレイドル



- メリット  
最小構成で可能
- ・LBT
  - ・iPhone
  - ・モバイルルーター
- デメリット  
クレードルへ給電が必要  
iPhoneからWi-Fiでつなげることができない